

平成30年度 第1回吹田市男女共同参画審議会 議事録

開催日 平成30年7月26日(木)

開催時間 (開会)午後2時30分 (閉会)午後3時30分

場所 吹田市役所 中層棟4階 第4委員会室

出席委員 石蔵 文信 北嶋 紀子 玉井 眞理子  
鶴田 岑生 櫻井 和子 西岡 昌佐子  
坪井 素子 谷口 裕哉 小谷 訓子

欠席委員 小牧 規子 寺本 尚美 平野 和子 出口 都彦

出席市職員

市民部長 高田 徳也  
人権政策長 横山 尚明  
理事(人材育成・女性活躍担当) 平田 美恵子  
市民部男女共同参画室長 杉 公子  
市民部男女共同参画室参事 柴野 勝俊  
市民部男女共同参画センター所長 畑澤 由佳  
市民部男女共同参画センター所長代理 吉岡 宏一郎  
市民部男女共同参画室主幹 紙谷 裕子

傍聴者 なし

## 会議案件

- 1 開会
- 2 市民部長挨拶
- 3 事務局職員紹介
- 4 会の成立要件について報告
- 5 議題
  - (1)「第4次すいた男女共同参画プラン」について
  - (2)「男女共同参画シンポジウム」について
  - (3)その他
- 6 議事の経過

会長：

それでは、議題に入らせていただきます。

議題1「第4次男女共同参画プラン」についてですが、昨年度、8回の審議会と各部会での審議と協議を経て策定をすることができました。

まずは事務局から説明をお願いします。

事務局：

「第4次男女共同参画プラン」を策定し、今後はプランに基づく様々な施策の実施状況や達成度等の検証を当審議会を重ねていくこととなりますが、現時点で「第4次男女共同参画プラン」に対しての御意見や今回プランを策定中での問題点や改善点、良かった点等がありましたら、次期第5次プラン策定の際の参考にさせていただきますのでお聞かせください。

会長：

各委員からご意見、満足度をお願いします。

第3次とはずいぶん変わりました。

委員：

濃淡のブルーの印字カラーは、インパクトはあるので訴える力がありますが、私たちの年代ではしんどいところがあるかなと。

事務局：

議論していただいているときは職場のプリンターでしたが、出来上がりの印象が変わりましたでしょうか。

委員：

第4次と第3次比較し、図の配置が変わり見やすくなっていると思います。

委員：

字は読みやすいと思います。

委員：

目標値の到達度等どのように評価するのでしょうか。

会長：

また5年後ですね。

委員：

最後まで、グラフを大きくしてほしい等のリクエストを全てクリアしてくれました。

委員：

どういうところに配られてどなたが読んでおられるのか。

事務局：

庁内はもちろんのこと大阪府内の行政機関、女性関係団体様、人権協議会委員様、行政相談員様等、図書館等公共施設にも配布しています。内部だけでなく対外的にも配布しており、現在600部ほど配布しております。今後も催しの際に配布する予定です。

委員：

これを見て参考になるのか。当たり障りのないものになっているように感じ、決め手に乏しいのではないかと感じています。批判されることも少ないかもしれないが。

会長：

いわゆる目玉商品ですね。

次回のプランで検討してください。

委員：

この前の災害時にハザードマップが全戸に配布されていることを知らなかったという新聞記事を読みました。本当に必要な方に配られたらいいなと思います。

副会長：

第3次プランに比べると概念の整理や系統立てがすっきりされ、分量が少なくなったが内容の濃いものになったと思います。ようやくスタート地点に立てたので、今後は吹田市の独自性や支援など広報周知を考えていくことになるのかと思います。

2つ目に、レイアウトについて施策の体系図の各章のフォントが大きければと思います。

3つ目ですが、先ほども出ましたが広報周知ですがホームページには掲載されないの

でしょうか。

事務局：

冊子と概要版のデータをアップしています。

副会長：

政策が吹田市のどの部署で担当されているのかプランに記載したということは、担当部署の方にも責任を持って推進してもらう必要があるかと思います。市民の方にも知ってもらい色々な視点でチェックしてもらうことがこの5年間の課題かと思っています。

会長：

概要版がきれいにできています。

3、4か所の審議会の委員になっていますが、これほどディスカッションするところはないです。事務方がたたき台を作りそれを承認することが多いが部会を何回もするところは、吹田トップクラスです。男女共同参画は道を造るとかではなく概念なので難しい問題だと思います。誇っていいと思います。

ただ、資料が多くなりましたね。

次に議題2、「男女共同参画シンポジウム」に移ります。

事務局から説明をお願いします。

事務局：

これまで男女共同参画プラン策定年に、新たな「すいた男女共同参画シンポジウム」を開催してきました。今年は、「第4次男女共同参画プラン」策定年に当たるため男女共同参画シンポジウムの開催を予定しています。具体的な開催日程につきましては今後調整してまいります。つきましては、「第4次男女共同参画プラン」の策定に御尽力をいただきました各委員の皆様におかれましても、シンポジウム開催の折には御協力いただきたいと思います。お手元に配布しております、前回「男女共同参画シンポジウム」のチラシ【資料2】を御覧ください。平成25年にシンポジウムを開催した際には「基調講演」と「パネルディスカッション」の2段構成で開催し、「基調講演」では石蔵会長に講師をお願いし、「参加苦にならない男女共同参画～男も女も生きやすい人間社会へ～」というテーマで講演を行っていただきました。今回につきましても前回と同様に「基調講演」と「パネルディスカッション」の2段構成で開催を予定しております。本日この場をお借りしましてシンポジウムの開催に当たり、「第4次すいた男女共同参画プラン」を啓発するためのシンポジウムのテーマとしてどのようなテーマがよいか御意見をいただきたいと思います。参考までに、前回「第3次プラン」策定時のシンポジウムのテーマはお配りしているチラシ【資料2】にありますように「考えよう、これからの男女共同参画～第3次すいた男女共同参画プランから～」となっています。「第2次プラン」策定時のシンポジウムのテーマは、お配りしているチラシ【資料3】にありますように「一人ひとりの生き方が大切にされる社会をめざして」となっています。「第4次プラン」を啓発するうえでふさわしいシンポジウムのテーマについて御意見がございましたらお伺いしたいと思います。

御意見でなくても、今回新たに女性活躍についての項目も増えていますので、こんな

ことに重きを置けばいいのではといったようなヒントになるような御意見でも結構です。

会長：

シンポジウムをやりますが、そのことに関して御意見をいただけますでしょうか。

会長：

最近御依頼を受けるときに、ともに依存しない工夫、単身でも。御夫婦仲良くより距離を置く。男性は女性に生活依存、女性は男性に経済依存をともにしない生活というテーマで依頼を受けることが多いです。

委員：

吹田で何か取り上げてほしいテーマはありますか。

事務局：

女性活躍推進法の関係であるとか、管理職の指標目標であるとか、新たな項目に注目していただきたいかなと思います。またDVについても男性の加害者支援といったことも新たに加えられました。

委員：

DVや虐待、プランに書ききれなかった加害者に対する施策が必要だと提言できるかなと思います。フォーラムの対象をどうするかが難しいと思います。

委員：

高齢者がこれから先どのように生きていけばいいか。認知症について不安があります。元気な方たちが動かなければならないと話をしています。介護は事案が違うかもしれませんが。

会長：

事務局でまとめてください。

事務局：

シンポジウムのテーマにつきましては、いただきました御意見をもとに、基調講演の講演テーマにも関連することですので講演テーマと調整のうえ決定させていただきたいと思います。

続きまして基調講演の講師の人選ですが御意見がございましたら伺いたいと思います。

会長：

基調講演の人選について御意見をお願いします。

委員：

(石蔵会長) 先生がしはったらいいのではないですか。

委員：

そこにあった話を分かりやすくやっていただけなので、寝ることなく楽しく講演を聞いてほしいので、(石蔵会長)先生が良いと思います。

事務局：

委員の方から石蔵先生にとの声が上がりましたので、事務局としましてもできることなら石蔵先生にお願いしたいのですが。皆様いかがですか。

【一同拍手で賛同】

委員：

先生にお願いがあります。明治維新のころ侍からひっくり返り、男が刀を持っていばっていたのに職を失った。それを支えてくれたのは女性だった。今の社会はA Iなどで職業の8割くらいがなくなると言われている。今までも複雑な社会や家族を支えてくれたのは女性だと思います。そのあたりの話が聞けたらと思います。

会長：

戸惑う男たちという本を書きましたが、男女共同参画で確かに女性の地位が上がったが、男性が意識を変えられないところで苦勞している。まだまだ女性がしいたげられている現実があることは承知の上で、男性の意識を変えなければいけないが、まだまだ戸惑う男性もいるのでそのあたりのお話もさせていただきたいと思います。

(事務局から)他にパネルディスカッションの話をしていただけますか。

事務局：

基調講演のテーマにつきましては、いただきました御意見を会長と相談させていただきます。続きまして、パネルディスカッションにつきましてはコーディネーター1名とパネリストとして各部会の部会長1名ずつの計4名を当審議会委員の中からお願いしたいと考えています。パネリストとして、第1部会からは今日は御欠席ですが、寺本委員、第2部会からは御欠席ですが出口委員、第3部会からは石蔵会長にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

【一同賛同】

事務局：

事務局から委員の方には改めて御依頼いたします。

またコーディネーターの人選につきまして御意見をいただきたいのですが。

会長：

北嶋副会長にお願いしたいのですが。

事務局：

石蔵会長から北嶋副会長にとの御意見がありました。皆様いかがでしょうか。

【一同拍手で賛同】

事務局：

北嶋副会長には正式に御依頼いたします。

会長：

続きまして日程ですね。

事務局：

男女共同参画シンポジウムの開催日程ですが、11月の開催を予定しておりますが、現時点での各委員の御都合をお聞かせいただき開催日を調整したいと思います。本日【資料4】シンポジウム候補日日程表を配布しております。御都合の悪いところに×をつけていただき本日提出いただける方につきましては後程回収させていただきます。本日難しい場合は7月31日までに会場の都合でお返事をいただきたいと思います。

会長：

せつかくいらっしゃるのである程度絞りたいと思います。

委員：

(石蔵会長) 先生のご予定は。

会長：

私が欠席するわけにはいきませんので、まず平日か日曜日かを決めたいと思います。日曜日の方が集まりやすいのではないのでしょうか。

委員：

平日の昼は限られてくるのではないのでしょうか。

事務局：

前は平日で空席が目立ったとのことでしたので、90名定員の会場でおそらく50名ほどだったかなと思います。

副会長：

50～60名よりも少なかった印象でした。平日だからでしょうか。

会長：

休みの日だと定年後の方も働いておられる方も来られますし。では日曜日で。日曜日だと11日しか空いていないです。18日も欠席されている他の委員との調整でどうにかできます。

副会長：

11日は何とかします。18日は大丈夫です。

会 長 :

では第1候補は11日で。よろしいですか。寺本委員と出口委員の御都合を聞いてから最終判断しましょう。平日は、8日、12日、13日です。

副会長 :

12日が絶対ダメです。

会 長 :

続きまして【資料5】につきまして。内閣府で少子化克服戦略会議を実施しています。私がオブザーバーとして参加しました。高齢者が子供たちの世話をしたら認知症予防にいいのではないかというような提言です。限られた予算で少子化対策ではなく克服と名前を一段上げて検討が必要だと。この内容で市町村ごとに取り組む場合は予算措置されるので吹田市で手を挙げていただけたらと思っています。モデル地区が必要なので。明日私が内閣府で会議があるので行ってきます。こんなことを進めていますということを伝えさせていただきます。

会 長 :

他に無いようでしたら、以上をもちまして、本日の審議会は閉会といたします。